



A 試合会場レポート

試合番号 123

開催日 2024/12/22

令和6年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会 男子

会場：Asueアリーナ大阪

観客数： 4,901	開始時間： 14:11	終了時間： 15:31	試合時間： 01:20	主審： 原 啓之	副審： 森口 豊
------------	-------------	-------------	-------------	----------	----------

サントリーサンバーズ大阪



監督：オリビエ キャット
コーチ：米山 達也

通算： - 勝 - 敗
ポイント： -

3	25	第1セット 【 00:23 】	12	0
	25	第2セット 【 00:26 】	22	
	25	第3セット 【 00:25 】	17	
		第4セット 【 】		
		第5セット 【 】		

ポイント 【】内はセット時間
- ()内は交代選手 -

大阪ブルテオン



監督：ティリ ロラン
コーチ：白澤 健児

通算： - 勝 - 敗
ポイント： -

<監督コメント>

言葉が見つからないくらい非常に嬉しいです。
今日の1日の頑張りとその結果というわけではなく、この数か月ハードワークで取り組んできた成果が出せたと思います。時間をかけてつくってきたチームのリズムや流れを維持することができ、コートに出た選手たちも気持ちよくプレーできたと思います。チームの今日見せたレベル、パフォーマンスを誇りに思います。
たくさんのご声援有難うございました。

<監督コメント>

サントリーサンバーズ大阪はプレーが非常に良く、私たちは解決策をみつけることができずに終わりました。良いプレーもありましたが、ミスが普段より多く調子の波が激しかったと思います。
来週からは大同生命SV. LEAGUEが再開し、タフなゲームが続きますのでこれからもっと練習していきたいと思います。
本日もご声援有難うございました。引き続き、応援よろしく願いいたします。

25	アレクサンデル ()	ムセルスキー ()	第1セット	エバデダン ()	ジェスキー ()	12
	小野寺 ()	柏田 甲斐 ()		西田 中村 ()	永露 西山 ()	
	大宅 ()	高橋 (藍) ()		ロベス ()	山内 ()	

リベロ： 藤中 (颯)

リベロ： 山本

25	ムセルスキー ()	柏田 甲斐 ()	第2セット	永露 ()	山内 ()	22
	アレクサンデル ()	高橋 (藍) ()		ジェスキー ()	ロベス ()	
	小野寺 ()	大宅 佐藤 ()		エバデダン 仲本 ()	西田 ()	

リベロ： 藤中 (颯)

リベロ： 山本

25	ムセルスキー ()	柏田 ()	第3セット	永露 西山 ()	山内 ()	17
	アレクサンデル ()	高橋 (藍) ()		ジェスキー ()	ロベス 富田 ()	
	小野寺 ()	大宅 ()		エバデダン ()	西田 中村 ()	

リベロ： 藤中 (颯)

リベロ： 山本

	()	()	第4セット	()	()	
	()	()		()	()	
	()	()		()	()	

リベロ：

リベロ：

	()	()	第5セット	()	()	
	()	()		()	()	
	()	()		()	()	

リベロ：

リベロ：

<要約レポート>

両チームとも地元大阪の応援を背に白熱したゲームを繰り広げた。
第1セット、サントリーは、柏田、シリフカのブロックで大阪Bの攻撃を封じると6連続得点をあげ、14-7と大きくリードする。対する大阪Bは、ロベス、西田を中心に反撃を見せるが、序盤の7点差が響きセットを落とす。
第2セット、お互いエースの打ち合いとなり拮抗した展開が続くが、中盤、大阪Bは、ジェスキー、エバデダンのスパイクで、一歩抜け出し16-11とリードする。そのまま大阪Bがセットを奪い返すかに見えたが、セット終盤サントリーは、リリーフサーバーに甲斐を投入すると、流れはサントリーに。相手のディフェンスを崩し、ムセルスキーのスパイク、小野寺のブロックなどで5連続得点で逆転に成功。最後は、シリフカのサービスエースでセットを連取する。
第3セット、後がなくなった大阪Bは、リベロ山本を中心にボールを繋ぎ、西田、ロベス、ジェスキーにボールを集め望みを繋ぐ。しかし、気迫に勝るサントリーの勢いは止められず、最後は、ムセルスキーのスパイクが決まり、サントリーに軍配が上がった。
サントリーサンバーズ大阪は、14年ぶりに天皇杯の頂点に立った。

作成者：黒田 拓也

※本票の著作権は、公益財団法人日本バレーボール協会に帰属します。